

単元名 おおきな かぶ

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。
 (2) 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。
 (3) 音読を楽しみ、登場人物の行動を確かめながら、友達と協力して劇遊びをしようとする。

標準的な展開例

01010114_001

【教材名】おおきな かぶ (上 P. 68～P. 79)

【準備等】劇で使う「かぶ」

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 「おおきな かぶ」を読み、学習の見通しをもつ。 ★「おおきな かぶ」の劇の発表会をしよう。 ○教師の範読を聞き、内容の大体を捉える。</p> <p>○教科書(P. 78～79)を見て、劇をした経験を思い出し、これからの学習に意欲をもつ。 ○教師の後に続いて全文を音読する。</p> <p>2～3 物語の大体をつかむ。 ○登場人物と、増えていく順序を確かめる。</p> <p>○工夫して音読する。</p> <p>4～5 グループごとに、劇の練習をする。 ○グループで役を決めて登場人物になりきって音読する。 ○登場人物になりきって劇遊びをする。</p> <p>6 発表会をする。 ○音読や劇の発表をする。 ○学習の振り返りをする。</p>	<p>・挿絵も参考にして、話の筋を視覚的につかませる。</p> <p>・「かぶは ぬけません」の前の接続詞「けれども」等の読み方を工夫させる。 【評】音読する活動を通して、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付ける「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】場面の様子や登場人物の行動を読む活動を通して、内容の大体を捉える「思考・判断・表現」を評価する。 ・繰り返しの言葉や副詞に着目して読ませる。</p> <p>・繰り返しの面白さやリズムを楽しめるようにする。</p> <p>・動作やせりふを考えて楽しませる。 ・グループの児童で、互いのよさや改善点を助言し合いながら練習させる。 【評】劇遊びをする活動を通して、登場人物の行動を確かめ、音読を楽しむ「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・繰り返しや、言葉の響きやリズムを楽しみながら、学習したことを確かめる。</p>

【 備 考 】